

読んで考えたことを伝え合おう

学習すること

14	13・12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	回
似ているところを見つけ、友達と感想を伝え合い、	結果の場面を読み、ごんと兵十が言いたかったことを考えて文章に書く。	第八場面を兵十の視点から読む。【本時】	第八場面を読み、ごんの気持ちを考える。	第七場面②を読み、ごんの気持ちを考える。	第七場面①の内容を読み取る。	第五、六場面を読み、ごんの気持ちを考える。	第四場面を読み、ごんの気持ちを考える。	第三場面②を読み、ごんの気持ちを考える。	第三場面①の内容を読み取る。	第二場面を読み、ごんの気持ちを考える。	第一場面を読み、ごんがどんな人物か考える。	学習の初めに読んだ感想を書く。	

【スキルタイム・すき間時間に】

- ・初発の感想を書き終えたら段落番号をふる
- ・音読タイム 11月〇日から
- ・音読テスト
- ・スクールタクトで意味調べの共有
- ・並行読書 10月〇日から

【家庭学習】

- ・10月〇日から家庭学習の音読を「ごんぎつね」にする。

【準備】

- ・図書室から新美南吉の本を借りる
- ・児童用単元計画表を作成、印刷
- ・掲示用挿絵印刷
- ・位置関係確認用ホワイトボードの枠作成
- ・掲示用短冊作成
- ・板書計画作成
- ・座席表印刷

読んで考えたことを伝え合おう

ごんぎつね 学習計画・振り返りカード 四年〇組 名前

回

学習すること

振り返り

感想を伝えることができたか

1 学習の初めに読んだ感想を書く。

2 第一場面を読み、ごんがどんな人物か考える。

3 第二場面を読み、ごんの気持ちを考える。

4 第三場面①の内容を読み取る。

5 第三場面②を読み、ごんの気持ちを考える。

6 第四場面を読み、ごんの気持ちを考える。

7 第五、六場面を読み、ごんの気持ちを考える。

8 第七場面①の内容を読み取る。

9 第七場面②を読み、ごんの気持ちを考える。

10 第八場面を読み、ごんの気持ちを考える。

11 第八場面を兵十の視点から読む。【本時】

13・12 結末の場面を読み、ごんと兵十が言いたかったことを考えて文章に書く。

14 友達と感想を伝え合い、似ているところと違うところを見つける。

読んで考えたことを伝え合おう

14	13・12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	回
友達と感想を伝え合い、似ているところと違うところを見つける。	<p> 13・12 結末の場面を読み、ごんと兵十が言いたかったことを考えて文章に書く。 </p>	<p> 11 第八場面を兵十の視点から読む。【本時】 </p>	<p> 10 第八場面を読み、ごんの気持ちを考える。 </p>	<p> 9 第七場面②を読み、ごんの気持ちを考える。 </p>	<p> 8 第七場面①の内容を読み取る。 </p>	<p> 7 第五、六場面を読み、ごんの気持ちを考える。 </p>	<p> 6 第四場面を読み、ごんの気持ちを考える。 </p>	<p> 5 第三場面②を読み、ごんの気持ちを考える。 </p>	<p> 4 第三場面①の内容を読み取る。 </p>	<p> 3 第二場面を読み、ごんの気持ちを考える。 </p>	<p> 2 第一場面を読み、ごんがどんな人物か考える。 </p>	<p> 1 学習の初めに読んだ感想を書く。 </p>	<p> 主な学習内容 </p>
<p> (主) 単元を通して考えたことをまとめ、友達に伝えることができる。(ノート・発表) </p>	<p> (思・判・表) 結末でのごんと兵十の気持ちを想像して文章にまとめることができる。(ノート・発表) </p>	<p> (思・判・表) 兵十の視点から第八場面を読み、兵十の気持ちについて考えることができる。(ノート・発表) </p>	<p> (思・判・表) 第八場面を読み、兵十の言葉にうなずいたごんの気持ちを考えることができる。(ノート・発表) </p>	<p> (思・判・表) 第七場面を読み、兵十と加助の話聞いたごんの気持ちを考えることができる。(ノート・発表) </p>	<p> (思・判・表) 第七場面を読み、兵十の後についていくごんの気持ちを考える。(ノート・発表) </p>	<p> (思・判・表) 第五、六場面を読み、ごんの兵十に対する気持ちの変化を考えることができる。(ノート・発表) </p>	<p> (思・判・表) 第四場面を読み、いわしを投げこんだごんの気持ちを考えることができる。(ノート・発表) </p>	<p> (思・判・表) 第三場面を読み、兵十へのいたずらを公開するごんの気持ちを考えることができる。(ノート・発表) </p>	<p> (思・判・表) 第三場面を読み、華列の様子をみるごんの気持ちを考えることができる。(ノート・発表) </p>	<p> (思・判・表) 第二場面を読み、いたずらをしたごんの気持ちを考えることができる。(ノート・発表) </p>	<p> (思・判・表) 第一場面を読み、物語の設定と中心人物の人物像を読み取ることができる。(話し合い・発表・ノート) </p>	<p> (知・技) 物語の大体の内容を捉え、結末についての感想を持つことができる。(ノート・行動観察) </p>	<p> 主な評価規準と評価方法 </p>